

電子請求受付システムのセキュリティ強化についてのお知らせ

1．電子請求受付システムのセキュリティ強化の概要

電子請求受付システムと事業所の通信についてはインターネット回線により行っており、セキュリティ対策として通信規格 TLS1.0 による通信を基本としています。現時点において TLS1.0 及び TLS1.1 は IPA より脆弱とされていることから、令和 3 年 4 月以降は安全とされる TLS1.2 に変更いたします。

2．請求ソフトの対応

(介護保険請求ソフト)

介護事業所が国保連合会にインターネット請求をする際は、本会で販売している「介護伝送ソフト」や民間ベンダが開発・販売している請求ソフトを使用して請求情報を伝送しております。この請求ソフトと電子請求受付システムとの接続の確立は、本会で提供している「伝送請求 API ライブラリ」を請求ソフトから参照することで実施しているところですが、参照方法としては以下 2 通りの方法があります。

・事業所クライアントにインストールされた API ライブラリを参照する方法

請求ソフトの仕様によって、請求ソフトに伝送請求 API ライブラリを組み込んでおらず、事業所が別途電子請求受付システムからインストールした伝送請求 API ライブラリ（統合インストーラ）を参照しているものと想定しております。（本会で開発している「介護伝送ソフト」もこの方法により電子請求受付システムに接続しております。）

・請求ソフトに組み込まれた伝送請求 API ライブラリを参照する方法

請求ソフトの開発において本会が提供する伝送請求 API ライブラリを組み込み、ソフト内の伝送請求 API ライブラリを参照しているものと想定しております。

具体的には民間ベンダが開発し販売する請求ソフトのパッケージの形態としては、以下の3通りがあると承知しております。

	請求データを作成する機能	請求データを伝送する機能
	あり	なし（本会の伝送通信ソフトを使用）
	あり	あり（伝送請求 API ライブラリは組み込まない）
	あり	あり（伝送請求 API ライブラリを組み込む）

においては、開発等に影響がないものと考えております。においては、上述の i に該当し、においては上述の に該当するものと想定しておりますが、改めて影響についてご確認いただければ幸いです。

なお、令和3年4月に制度改正・報酬改定があるため、TLS1.2の対応にかかわらずベンダによるソフトの改修や、事業所における新たなソフトの購入・インストール等があるものと想定しております。インストール方法についても同様に、TLS1.2の対応にかかわらず事業所へご案内されるところと考えておりますので、事業所において円滑な切り替えが行えますようご対応のほどお願いいたします。

（障害者総合支援請求ソフト）

障害福祉サービス事業所等が国保連合会にインターネット請求する際は、全事業所が本会で開発し事業所へ提供している「簡易入力システム」「取込送信システム」を使用して伝送しております。（「請求データ作成機能」をベンダにて開発している場合もありますが、伝送については本会提供ソフトを全事業所が使用しております。）そのため、開発ベンダにおける対応は不要となりますが、介護保険サービス、障害福祉サービス等の両事業を一体的に運営している事業所もあることから、事業所において疑義が生じる可能性がありますので、内容についてご承知いただけますと幸いです。

3. ベンダテストについて

令和3年2月からベンダテストを予定しております。令和2年11月下旬に、ベンダテストの申し込みにつきましても本会ホームページにてご案内いたします。